

園への苦情・ご要望（令和5年4月～令和6年3月）

1. 園から帰宅後ミルクを飲み、夜中寝ている時に嘔吐した。吐しゃ物の中に、園で食べたであろう離乳食（初期食）の人参が固形の状態で見つかった。園でどのように離乳食を与えているのか聞かせてほしい。
（令和5年4月、保護者より）

＜対応＞離乳食は担当がすりつぶし、与える際にもしっかりつぶれているか確認しながら与えるようにしていました。しかし、当日担当した保育士に確認したところ、すりつぶしが不十分で、与える際の確認も不十分であったことがわかり、謝罪しました。以後は、離乳食初期は給食室でブレンダーを使用してすりつぶし、与える際には食材の状態を十分に確認することを園全体で再確認し、改善を図るようにしました。

2. 子どもの手の親指にささくれができており、担任の先生がささくれを引っ張ったことで悪化して腫れた。ささくれなどの対応はどうしているのか。
（令和5年10月、保護者より）

＜対応＞活動中に園児がささくれを気にしていたので、本来ならささくれは爪切用のはさみで切ってバンドエイドを貼って処置するのですが、少しだったので担任が引っ張って取ってしまいました。その為に悪化させてしまったことを謝罪しました。今後は丁寧に処置することをお伝えし、理解していただきました。職員間でも丁寧に処置することを再度確認しました。

3. 園から帰宅後、体調不良で嘔吐した。吐しゃ物の中に、その日のおやつのお昆布（1.5cm×3～4cm）があった。近年、乳幼児の喉詰り事故があるので心配になった。
（令和5年11月、保護者より）

＜対応＞おやつのお昆布は薄いものを提供しており、咀嚼が難しい園児に対しては担当がちぎって与え、しっかりと咀嚼できる園児に対しては食べている様子を見守るようにしていましたが、見守りが不十分であったことを謝罪しました。園全体で話し合い、今後は咀嚼が安定しない0～2歳クラスには昆布の提供をしないことにしました。